



豊田市少林寺拳法スポーツ少年団



◆創立

昭和45年（1970年）

豊田市少林寺拳法連合会

◆スポーツ協会 加盟

平成3年（1991年）

豊田市少林寺拳法協会

◆スポーツ少年団 加入

平成5年（1993年）

豊田市少林寺拳法スポーツ少年団

歴代代議員

車田喜男（平成5年～平成6年）

佐藤秀之（平成7年～平成8年）

永田慎吾（平成9年～平成12年）

服部俊美（平成13年～平成16年）

永岩信行（平成17年～平成23年）

和泉圭治（平成23年～平成25年）

平井慎司（平成26年～令和4年）

脇山和希（令和5年～令和6年）

平井慎司（令和7年～）

単位団（令和7年現在）

愛知朝日道院拳友会 ※1 代表：平井慎司

愛知浄水道院拳友会 代表：山下研治

拳母道院拳友会 代表：倉知三純

豊田末野原道院拳友会 代表：服部俊美

愛知梅坪道院拳友会 代表：車田喜男

愛知藤岡道院拳友会 代表：浦江克英

愛知けやき道院拳友会 代表：山下 誠

愛知高上道院拳友会 代表：山下研治

少林寺拳法浄水健康クラブ 代表：山下佳代子

※1 “拳友会” とは

金剛禅総本山少林寺の道院に所属、かつ一般財団法人少林寺拳法連盟の個人会員である拳士が、少林寺拳法連盟や都道府県連盟の行事・活動に参加するために結成した会です。

少林寺拳法グループについて

少林寺拳法は、一般社団法人 SHORINJI KEMPO UNITY、金剛禅総本山少林寺、一般財団法人少林寺拳法連盟、少林寺拳法世界連合（WSKO）、の四つの法人・団体が連携・融和を図りながら、独自性を生かして、世界で一つの“少林寺拳法（SHORINJI KEMPO）”として社会教育活動を展開しています。

一般財団法人少林寺拳法連盟について

一般財団法人少林寺拳法連盟は、各地域の公民館、体育館で、スポーツ少年団などの活動や、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学など、学校のクラブ活動として、また、官公庁、民間企業など、職域のクラブ活動として少林寺拳法を普及させています。

男女を問わず、誰でも、いつまでも、楽しく、幅広い年齢層で親しめる少林寺拳法を通じて、豊かな人間性を涵養し、体も心も養う、「体と心の健康づくり」をしています。

豊田市少林寺拳法スポーツ少年団の母体である豊田市少林寺拳法協会は、一般財団法人少林寺拳法連盟の傘下である、愛知県少林寺拳法連盟に所属しています。

創設と沿革

豊田市の少林寺拳法は昭和38年（1963年）、北海道の自衛隊からトヨタ自動車に入社した山下咲雄が会社のクラブとして「トヨタ自動車拳法部」を元町厚生センターに設立したことに始まる。

その後、豊田市少林寺拳法連合会を経て、平成3年（1991年）に、高木キヨ子氏（元豊田市市議会議員）を協会長に迎え、山下咲雄氏（現愛知高上道院拳友会代表）を初代理事長とした豊田市少林寺拳法協会が正式に発足。時を同じくして豊田市体育協会（現豊田市スポーツ協会）に加盟した。

平成4年（1992年）には、第1回少林寺拳法豊田市民大会を開催。豊田市スポーツ少年団には、翌平成5年に加入。その後、令和2年（2020年）～令和5年（2023年）まで、東日本大震災やコロナ禍による非開催年を除き毎年大会を開催している。平成17年（2005年）には、藤岡町の編入もあり、最盛期には18単位団（200人）を超えた。現在は10単位団（103人）が引き続き活発な活動を展開している。

現在の活動

少林寺拳法の修練は、護身の技術である「法形」、法形を自在に使いこなす「運用法」、そして法形を組み合わせる相手と共に作り上げる「演武」の、大きく3つの修練の仕組みがある。また、少林寺拳法の普及に向けた教室や、修行で養った力を社会に活かす貢献活動も積極的に展開している。

1) 法形・運用法評価

定期的に行われる「昇級・昇格考試」で習熟レベルを確認し、修行の段階に応じて資格が付与される。また、これらを実地する基準の統一とレベルの維持を目的とした、有資格者への「考試員・審判員講習会」なども毎年開催している。

- ・昇級考試（4回／年）
- ・昇格考試（1回／月 ※非開催月あり）
- ・考試員・審判員講習会（1回／年）
- ・教学研修会（不定期）

2) 演武発表会

成果発表の場として各種大会を開催している。

- ・全国大会（1回／年 ※4年毎 世界大会）
- ・愛知県大会（全国大会予選を兼ねる）
- ・西三河地区大会（2回／年）
- ・豊田市民総合体育大会（1回／年）

3) 普及活動

所属以外の仲間との研鑽の場、少林寺拳法を体験いただく教室や研修を実施している。

- ・技術研修会（公認研修会・西三河研修会）
- ・少林寺拳法教室
- ・中学武道必須化対応（愛知県内の中学校）

4) 社会貢献活動

修練で培った自信と勇気で、積極的に行動してゆける人、社会に役立つ人を育てている。

- ・ボランティア（ぬくもりの会お手伝い 他）
- ・宗道臣デー（創始者命日月間の奉仕活動）



5) その他

拳技を応用した少林寺拳法健康プログラムや介護技術講習会などを展開している。

将来の展望

平成23年（2011年）、少林寺拳法グループは、「組織機構改革」と銘打った大改革に踏み切った。少林寺拳法の価値を再認識し、時代に即応したより最適な組織の枠組みへ改善してゆく為のこの改革は3ヶ年（～2013年）に及び、その過程で悔しくも活動休止を余儀なくされた所属もあった。

そんな中、平成24年（2012年）に高木キヨ子氏の後継者として、新たに神谷和利氏（現愛知県議会議員）を協会長に迎え、平成25年（2013年）には、市民総体開催に合わせて、「協会設立20周年記念式典」を盛大に開催することができた。

令和元年（2019年）には、「2019年 少林寺拳法全国大会 in あいち」がスカイホール豊田で開催された。愛知県が全国大会の開催地となったのは、愛知県体育館（1984年）、ナゴヤドーム（2004年）に次ぎ3度目である。

地元ということもあり、大会運営では、豊田市少林寺拳法協会・少林寺拳法スポーツ少年団の指導者・拳士が、設営や誘導担当の中心となり、拳士保護者の方々にも多大なご協力をいただきながら無事成功裏に導くことができた。

一連の働きは、主催者である一般財団法人少林寺拳法連盟、愛知県少林寺拳法連盟からも高評価を頂くことができ、長年、愛知県体育館開催であった愛知県大会も、次回より豊田市での継続開催の打診をいただいている。

これらは、豊田市の指導者・拳士、保護者の団結力と行動力が認められたという自信になると同時に、新たな時代の予兆を感じている。



他人との優劣や勝ち負けではなく、「人が生まれながらに持つ成長の可能性を実感させ、自信と勇気と行動力を養い、社会に役立つ青少年を育成する行である」という意義を忘れず、仲間を大切に、「誰かが、いつか、やらなきゃならないことなら、よし！俺が（私が）やろう！」という若者を、ひとりでも多く育て続けていきたい。

（記 平井慎司）

豊田市少林寺拳法スポーツ少年団【単位団情報】

問い合わせ先…山下研治 Tel 090-4236-2375

〔*1〕⇒“拳友会”とは、金剛禪総本山少林寺の道院に所属、かつ一般財団法人 少林寺拳法連盟の個人会員である拳士が、少林寺拳法連盟並びに都道府県連盟の行事・活動に参加するために結成した会です

愛知朝日道院拳友会〔*1〕	愛知浄水道院拳友会	拳母道院拳友会
平井 慎司 (協会理事長・スポ少 代議員)	山下 研治 (協会事務局長・スポ協 評議員)	倉知 三純 (協会会計)
豊田末野原道院拳友会	愛知梅坪道院拳友会	愛知藤岡道院拳友会
服部 俊美	車田 喜男	浦江 克英
愛知けやき道院拳友会	愛知高上道院拳友会	少林寺拳法浄水健康クラブ
山下 誠	山下 研治	山下 佳代子
		浄水交流館（大清水町） 日曜日 17:00～18:30 幼児～一般 ★少林寺拳法のエッセンスを 取り入れた健康プログラム